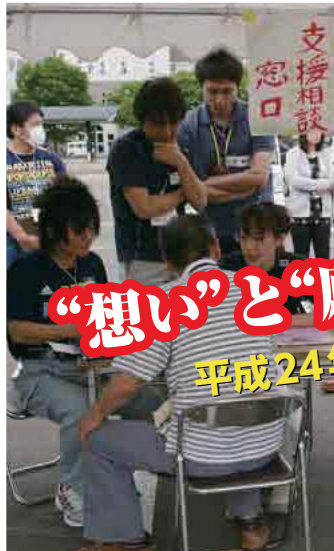


社協だより

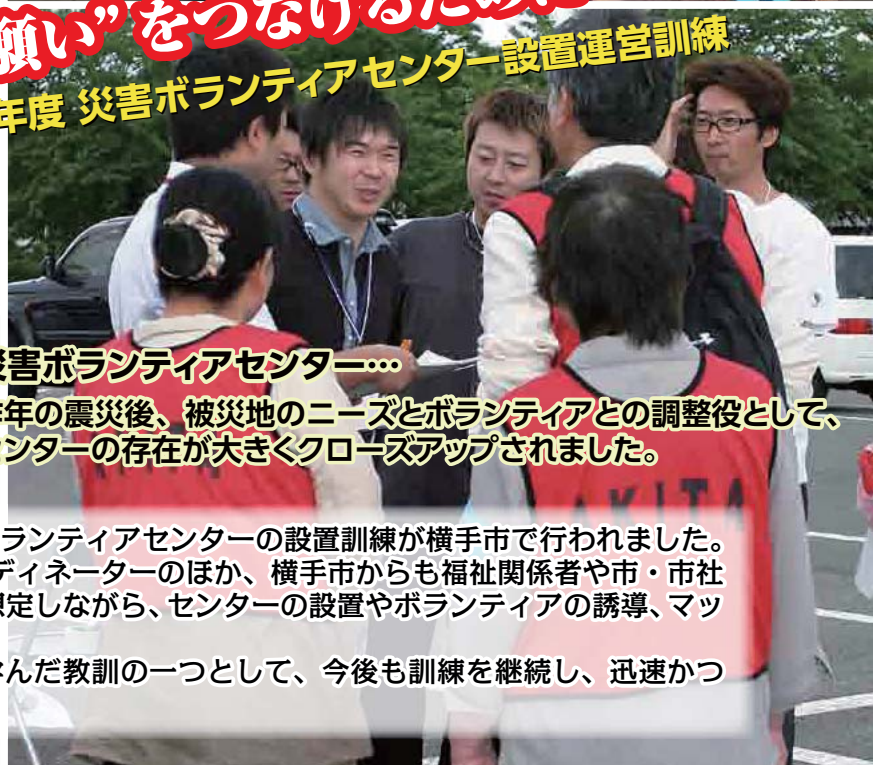
No. 26
2012.8.1

みんながつくる みんなの福祉

横手市社会福祉協議会



“想い”と“願い”をつなげるために
平成24年度 災害ボランティアセンター設置運営訓練



災害ボランティアセンター...

昨年の震災後、被災地のニーズとボランティアとの調整役として、センターの存在が大きくクローズアップされました。

6月12日、県内で初めてとなる災害ボランティアセンターの設置訓練が横手市で行われました。訓練には、全県の災害ボランティアコーディネーターのほか、横手市からも福祉関係者や市・市社協職員等が参加し、実際の災害発生時を想定しながら、センターの設置やボランティアの誘導、マッチング作業などを行いました。

「初動の大切さ」、あの「3.11」から学んだ教訓の一つとして、今後も訓練を継続し、迅速かつ柔軟に対応できる体制づくりを進めます。

暮らしやすい地域づくりのために

地域と協働 みんなと協働 福祉協力員

社会福祉協議会では、「みんなが安心して暮らせる地域づくり」を進めるため、各町内に福祉協力員を設置し、地域の福祉関係者・機関と連携しながら、様々な活動を行っていただいています。

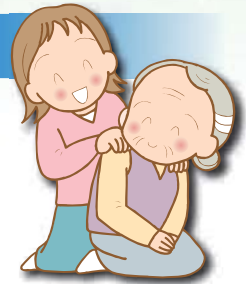
～福祉協力員制度は、市町村合併後の平成18年4月からスタートしました～

福祉協力員とは？



地域福祉の担い手

地域で行う福祉活動や行事などを進め、地域の“福祉力”を高める活動を進めていただいています。



地域からの推薦

地域の町内・自治会長さんと民生児童委員さんから推薦をいただいた方を委嘱しています。

40世帯に1人を目安

無理のない範囲で活動していただくため、世帯数に応じて協力員を設置しています。また、町内の班毎に設置している地域もあります。



任期は3年

地域の情報把握や経験を積み重ねていただくため、やや長めの任期としています。

地域の見守りや相談相手

民生児童委員さんなどの関係者・機関と協力し合いながら、地域の見守り・支援体制の一員として活動していただいています。



福祉に関する情報源

様々な研修や行事への参加を通して得た福祉情報を地域に提供しています。

社協の心強い協力者

社協会員募集や共同募金運動への協力などにより、社協活動や福祉活動を支えてくださる協力者です。

平成23年度で第2期福祉協力員の任期が終了し、今年4月から3年にわたる第3期福祉協力員として911名(H24.7.1現在)の方々が委嘱されました。

なお、町内・自治会や民生児童委員の皆様には、福祉協力員の推薦にあたって多大なご協力をいただき、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、福祉協力員の皆様には、社協会員の募集のため、お忙しい中、また大変暑い中を7月から各世帯を訪問していただいております。心より感謝申し上げます。





つながりの強い地域に～震災から学んだこと～

大雄地域 福祉協力員 小松光雄さん（平成23年4月～）

昨年三月、旅行先の気仙沼市で「東日本震災」に遭遇し、一時的に避難生活を強いられました。この経験からいろいろと考えさせられたことがあります。ガレキ等が散乱し、自分の移動で精一杯にも関わらず、交代で車いすを押ししたり、背負つての移動介助、避難所での譲り合い、寒い中でも隣の人へ毛布を貸したりと、本当の支えあいの姿を見たと、気がしました。

福祉協力員になる前も、一住民として良い地域にしたいとの思いから、地域の福祉活動に参加してきましたが、「まだまだ足りなかつたなあ」と痛感しました。一方で、何か特別なことをするのではなく、普段の生活の中で自分ができる小さなことから行動することにより、地域のつながりを強くし、有事の際のたすけあいにつながっていくのではないかと感じました。

福祉協力員として気負うことなく、住民同士のとつながりが強い地域になるよう、自分ができることから活動していきたいと思えます。

平成23年度の主な活動の中から

福祉協力員個々の活動だけではなく、組織としての活動も行っており、各地域に15の福祉協力員会、その中に39の地区連絡会を設置し、地域の実情に合わせた福祉活動や研修などを行っています。

敬老会への協力

横手

市主催の敬老会にて、会場でのお手伝いや終了後の片づけなどに協力しました。

世代間交流の促進

平鹿

地域の高齢者と地元保育園・保育所の園児との交流会を開催しました。



火災報知器設置の支援

雄物川

火災報知器が一部未設置の一人暮らしの高齢者（75歳以上の方）のお宅を対象に、火災報知機の取り付けなどの支援を行いました。

町内行事の応援

大森

地域で行われる様々な行事（夏まつり、研修、スポーツ交流など）を応援するため、一部経費を助成しました。



町内交流活動の応援

十文字

冬場の閉じこもりがちな時期に、外出の機会や住民同士の交流を図るため、町内単位で交流会を開催しました。

除雪ボランティア活動

山内

特に積雪が多い地域にお一人で暮らす高齢者等で、除雪が困難な世帯を対象に、中学生や民生児童委員等と一緒に除雪活動を行いました。



非常時への備え

大雄

お一人暮らしの高齢者に、災害時や緊急入院などの際に困らないよう着替えや非常用品などを入れる「ふれあい安心ボックス」を配布しました。

また、今年に入り、次のような困りごとに対応したケースもあります。

暴風被害への対応

増田

今年4月、暴風被害により困りが傾いている住宅を福祉協力員が発見し、住人の方とお話した後、すぐに増田福祉センターへ状況報告と対応方法の確認のため連絡しました。その後、福祉センターと市の担当者が現地を確認し、関係者と協議した結果、担当地区の福祉協力員2名と民生委員が材料を持ち寄り、応急措置的に囲いを修理しました。

福祉協力員として、必ず「しなければならない」活動というものはありません。地域が必要としていること、住民が必要としていることを、同じ地域の一住民としてその実現に向けて、できることから行動していただいております。地域によって様々な活動内容があります。そして、社協や行政等だけでは解決

できない様々な問題の解決に向けて、一緒に活動していただいております。

福祉協力員活動は、住民の皆様の理解によって、より充実した活動を、よりスムーズに進めることができます。よりよいまちづくりのため、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

“新楽期”スタート!

父ちゃんの楽校「入楽式・料理講座」

今年で5年目を迎える「父ちゃんの楽校」の入楽式と料理講座が6月18日(月)に、さかえ館で行われました。今回の講座では、環境に“やさしい”火を使わない料理をテーマに、キュウリや豆腐を使った創作料理を学びました。入楽祝いも兼ねた試食会では、ノンアルコールビールで乾杯し、家庭にも“やさしい”父ちゃんの姿をアピールしました。

今年からは登録制となるなど内容も一新され、自身の趣味、生きがいづくりのほか、地域貢献活動も積極的に行っていくことにしています。随時、参加者を募集していますので、趣味や生きがいをつくりたい方、また特技などを活かして地域貢献したい方は、ぜひご参加ください。(性別不問。お問い合わせ、お申し込みは本部地域福祉課まで)



試行錯誤の創作料理で“入楽”をお祝いました。



社協のできごと

地域のできごと

山内

小さな“友達”いらっしやい!

ミニデイサービス/世代間交流



緊張気味の子どもたちも、ご利用者の笑顔で徐々に打ち解けてくれました。

ミニデイサービスに、「清川の里 あたごキッズ」の子どもたち9名が遊びに来てくれました。最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちも、おゆうぎやお話をするうちにすっかりと打ち解け、おじいちゃんやおばあちゃんに膝だっこしてもらったり、靴下をはかせてもらったりと、微笑ましい光景も見られました。

ミニデイサービスのご利用者も、「めんこいなあ」の声と一緒にニッコリ笑顔! 世代を超えた小さな“友達”ができた喜んでいました。



横手

心に届く声の訪問

声の訪問ボランティア



久しぶりに顔を合わせた交流会。年に1回の大切な時間です。

お一人で暮らされている高齢者の方々に、電話による定期的な“声の訪問活動”を行っている「声の訪問ボランティア」の皆さん。

「心」のケアを目的に、ボランティアの養成研修等を経て、平成13年2月から活動しており、現在は毎週月～金曜日、ご利用者21名に対して6名の会員が交代で声の訪問活動を行っています。

6月24日(日)、毎年恒例となっているご利用者との交流会が行われ、芸能披露や漬物の作り方、昔話などで交流を深めました。ご利用者からは「電話の声もきれいだけど、顔はもっときれいだな」との感想も聞かれ、年に1回の顔を合わせる貴重な機会を存分に楽しんでいました。

顔は見えなくても、“心”に届く“声の訪問”を今後も続けていきます。

地域の話題

中学生職場体験学習

5月15日から3日間、十文字福祉センターのデイサービスで十文字中学校2年生5名が職場体験学習を行いました。生徒たちは、ご利用者の介助や話し相手などの体験を通じ、コミュニケーションの難しさや大切さを学びました。

<体験した生徒からの感想>

- 介護の体験は初めてで、何をどうすればいいのかわかりませんでした。職員の方々に指導していただき、お手伝いすることができました。
- 今回の体験の中でご利用者に「ありがとう」と声を掛けてもらったことが何よりもうれしかったです。この3日間で仕事の大変さと喜びを感じることができ、貴重な体験をすることができました。
- 日頃から介護の仕事には興味がありましたが、今回の体験を通じてより興味が深まりました。これからも夢に向かってがんばりたいです。

これからも、子供たちの夢を応援し、夢を持ってもらえるような職場づくりに努めたいと思います。



「福祉のお仕事」を体験。夢に向かう一生懸命さが伝わりました。

小ネットワーク会議



みんなが一体となって暮らしやすい地域づくりを考え、活動しています。

大雄地域では、地域を17カ所に分け、6月から8月に掛けて「小ネットワーク会議」を行っています。

会議には、地域の民生委員、福祉協力員等の福祉関係者や自治会関係者、そして市の担当者や駐在所等が参加しており、これまでの会議では、空き家に対する不安や除雪支援を行う方の高齢化といった問題や、高齢者への心の支援、徘徊している方への地域の見守り協力など、地域に必要な活動についての検討が行われました。

毎年開催している会議ですが、地域の状況は刻々と変化しているため、毎回新しい情報や問題が出されており、その都度の状況に則した対応が求められています。

“安心して暮らせる地域づくり”の第一歩となる活動として、地域と一緒に進めていきます。

花植えボランティア 佐々木悦子さん

県道164号線を雄物川から大森方面に向かう途中に、春になると鮮やかな芝桜が広がっている場所があります。この芝桜を10年以上にわたって1人で管理しているのが佐々木悦子さんです。

きっかけは、当時、県道164号線の工事によって現在の場所にスペースができ、もともと花を育てることが好きだった佐々木さんは、そのスペースを花壇として使いたいとの思いから始めたそうです。

県から使用許可をもらい、工事をしていた業者の好意により必要な土や石を譲り受け花壇の準備は整いましたが、花の種は自分で購入して植えました。

92歳となった今でも、天気が良ければ花壇の手入れに向かうという佐々木さん。「花を育てることは楽しいし、その花を少しでも多くの人に見てもらえたらうれしい。これからも元気なうちは続けていきたい。」と、満面の笑顔でお話ししてくれました。



丹精込めて育てた芝桜と佐々木さん。

Pick Up!! わたしの社協

心身共に豊かな生活を応援します

平寿苑 指定通所介護事業所



平寿苑の古関育男です。私が勤める「平寿苑デイサービス」は、外を眺めると雄大な鳥海山が一望でき、中を見ると四季折々の可憐な花々が咲く中庭があるなど、自然に囲まれ心安らぐ環境にあります。

この環境の中で、生活に必要な動作、体の機能の向上のため、ご利用者の心身の状況に合わせた活動のほか、体の状況に応じた入浴ができるお風呂などのサービスを提供させていただいています。

また、ご利用者の望む生活を応援するために、施設内外の研修に積極的に職員が参加し、介護の質の向上や自己研鑽に励んでいます。

自宅で閉じこもりがちになっていませんか？最近、大きな声で笑っていますか？体の調子が悪いと悲観していませんか？住み慣れた自宅での暮らしがより豊かになりますよう、憩いと楽しみのある場である「平寿苑デイサービス」にぜひお越しください。

■事業所名…横手市社会福祉協議会 平寿苑 指定通所介護事業所

■所在地…横手市平鹿町浅舞字館廻353

■電話…38-7011

■FAX…38-7012

■営業日…毎日(12/31～1/3までを除く)

■営業時間…9:30～16:45



作品お待ちしております！ 募集要項

「健康」
次号のテーマ
スポーツの秋、食欲の秋にふさわしい「健康」にちなんだ川柳を募集します。

【応募資格】 市内在住の方ならどなたでも
【応募方法】 作品（お1人様2点まで）氏名、連絡先（可能な範囲で）をご記入の上、ハガキやFAX、メールなどでご応募ください（様式は問いません）。なお、応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
締切は8月31日（金）です。

【応募先】 横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課「ふくし川柳係」
〒013-0072 横手市卸町5-10
FAX：36-5388
e-mail：tiiki@yokote-shakyo.jp

【広報掲載】 寄せられた作品の中から数点を選考させていただき、作品、氏名等を掲載いたします。

【その他】 募集川柳は原則5・7・5音とします。ただし、多少の字余りや字足らずは構いません。

広報No.23号で、作者のお名前に誤りがありましたので、訂正させていただきます。ご本人様には、大変ご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫言申し上げます。

作品「ありがとう 互いに和む いい笑顔」
作者 高橋 須美江様（平鹿）

- 一、おしゃべりのいきいきサロン 好い仲間
柴田 丈夫さん／平鹿
- 一、老いたって一人じゃないよ デイサービスへ
ペンネーム 宏ちゃん／増田
- 一、組織力 などでしこ並みの仲間たち
川崎 幸男さん／十文字
- 一、ミニデーの 仲間風呂にて 花咲かせ
山本 栄さん／十文字
- 一、仲間居り 暴風雪に 耐えられた
最上 ヨネさん／雄水苑

「仲間」をテーマに、たくさんの方が作品を寄せられました。その中から、数点ご紹介させていただきます。（順不同）

福祉を詠んで心豊かに
ふくし川柳

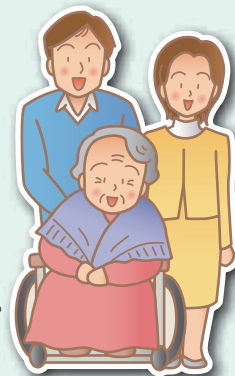
横の手を
つないでさず（つく）く
我が横手

ご応募ありがとうございました

お知らせ掲示板

かいご教室の開催 **かいごの困りごと 解決のヒントに**

- ◆開催日・場所 **8月21日(火)** 横手市さかえ館 [栄公民館]
8月23日(木) 大雄福祉センター
8月28日(火) 十文字ふれあい館
- ◆開催時間 午後1時30分～3時30分
- ◆内 容 平成24年4月1日から改正された「介護保険制度」の内容や福祉サービスの利用についての講話、介護の困りごとなどのご質問やご相談等に対応いたします。
- ◆申し込み 最寄りの各福祉センターへ開催日の2日前までお申し込みください。
- ◆参加費 無 料
- ◆問合せ先 横手市社会福祉協議会本部地域福祉課 ☎36-5377



ワンポイント アドバイス

介護を必要とする方が
自宅で入浴するときは？

- 食事直後の入浴は避けましょう。
- 入浴の前後にコップ1杯程度の水分補給をしましょう。
- めるめのお湯 (37℃～39℃) に入浴しましょう。
- 入浴前に、心臓に遠いところから「かけ湯」をしましょう。
- 体を洗うときは、皮膚を傷つけないよう「手」で洗いましょう。
- 石けんのつけすぎに注意しましょう。
- クーラーなどによる室内の温度差 (冷やし過ぎ) に注意しましょう。



善意

ありがとうございました
(平成24年5月1日～6月30日受付分)

【横手福祉センター受付】

- 横手介護ボランティアの会 様
- (尙)中野繊維 様
- 朗読ボランティア「まんさく」の会 様
- 村上 陸 様 (寿 町)
- 安藤 詔子 様 (上真山)
- 齊藤 フミ 様 (大屋新町)
- 佐々木 有紀 様 (寿 町)
- 佐藤 良子 様 (南 町)
- 柴田 昌子 様 (大屋新町)
- 横手市連合婦人会 様
- 佐々木 壽一 様 (雄物川・柏木)
- 大森女性コーラス 様
- 佐川舞踊交流一座 様
- 堀江 茂寿 様 (上 境)
- おはなし大好きの会 様
- 演歌クラブ 様
- 朝友会 様
- 黒沢 昭次 様 (旭 川)
- 横手勤労者互助会女性部 様
- 金沢民謡同好会 様
- 新日本舞踊扇佳流優仙会 様

※広報発行回数の関係上、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。
 ※「善意」の受付は、横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

【増田福祉センター受付】

- 千 田 宏 二 様 (半助村)

【平鹿福祉センター受付】

- よねや浅舞店 様

【雄物川福祉センター受付】

- 荻 田 ヒサ子 様 (下桑木)
- 佐々木 勇 吉 様 (横手・杉沢)
- 坪 井 幸 子 様 (新 丁)
- 雄物川地域老人クラブ連合会 様

【大森福祉センター受付】

- 芝桜フェスタチャリティ野点 様

【十文字福祉センター受付】

- 昭和12年十文字小学校
尋常科卒業生有志 様

【山内福祉センター受付】

- 鶴 田 ハ ヤ 様 (中南郷)
- あたごキッズ 様

【平寿苑受付】

- 菊 地 実 様 (十文字・木下)
- 柴 田 ヒ テ 様 (吉 田)
- 美容組合横手南支部 様
- 傾聴ボランティアささやき 様

【雄水苑受付】

- 五十嵐 浩 昭 様 (砂子田)
- 四 関 久三郎 様 (常 野)
- 安 藤 良 徳 様 (神奈川県)
- 下 村 蔵之助 様 (沼 館)
- 島田書店 様
- よこて市商工会女性部雄物川地区 様
- 傾聴ボランティアひまわり 様
- 浅舞感恩講保育園 様
- 雄物川地域老人クラブ連合会 様
- 亀 谷 く に 子 様 (横手・平和町)
- 大森保育園 様

【憩寿園受付】

- 神 原 實 様 (八兵工丁)
- 伊 藤 みゆき 様 (荊 島)
- JA秋田ふるさと
女性部三重地区婦人会 様
- JA秋田ふるさと
助け合い組織ほのぼのの会 様
- 吉 田 トミエ 様 (学校通り)
- 小 川 雅 也 様 (新 関)
- 傾聴ボランティアささやき 様
- スーパーモールラッキー
イベント委員会 様
- 佐々木 仁 様 (栄 町)
- 熊 谷 秋 夫 様 (梨 木)

【本部受付】

- 秋田県消費者協会 様



イオンスーパーセンター つばきスマイル

お顔も気持ちも
笑顔で明るく
なりますように

市内ショッピングセンターの化粧品販売スタッフによるボランティアグループ「イオンスーパーセンター つばきスマイル」。“美容のプロ”たちが地域貢献活動の一環として、市内老人福祉施設のご利用者等にお化粧をする活動を行っています。

お化粧中は会話も弾み、ご利用者にとっては楽しいひと時となっているようですが、お化粧が終わり鏡に映る自分を見て微笑む様子に、会員自身の心の癒しになっていると語ってくれました。



また、明るく積極的になったご利用者の様子を見て、そのご家族や施設の職員からも大変喜ばれており、「化粧セラピー」とも呼ばれるこの活動は、本人だけではなく様々な面で効果があるようです。

地元高校生やボランティアグループと合同によるボランティア活動をきっかけに始まった活動も今年で6年目となりました。「お顔も気持ちも笑顔にしたい」、活動を始めた当時の想いを胸に、これからも活動を続けていきます。

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進めていく民間の団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377
横手福祉センター TEL.33-8668
増田福祉センター TEL.45-4848
平鹿福祉センター TEL.24-3283
●横手市市外局番 0182

雄物川福祉センター TEL.56-2072
大森福祉センター TEL.26-3274
十文字福祉センター TEL.42-5858
山内福祉センター TEL.53-3009

大雄福祉センター TEL.52-3311
特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510
この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388
E-mail syakyou5@agata.plala.or.jp ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>